志免町生活支援コーディネーター発行

第６号　令和３年５月

地域の支え合い通信

～であい♥つながりあい♥支えあい～

王子八幡町内会

ちょっとした困りごとを解決！「王子サポート隊」 始動準備中

王子八幡町内会では令和元年度から「ふくしのまちづくりプロジェクト」を開始し、実態調査を踏まえ、日々の見守り活動とちょっとした生活上の困りごとに対応していく「王子サポート隊」を結成しました。

令和３年度からの始動に向け、４月13日（火）にサポート隊メンバー向けの説明会が行われました。「住みやすい地域づくりのお手伝いができればと思い参加しました」と若い世代の方もおられました。

サポート隊メンバーが安心して活動できるよう、説明会での意見を踏まえ再度話し合いを行う予定としています。

活動内容

- ●ゴミ出し
- ●簡単な修理や電球交換
- ●草取り（家の外の壁面）など

※公的サービスを利用できず、業者さんに頼むまでもない程度でサポート隊ができる範囲のお手伝いを想定しています。

「ふくしのまちづくりプロジェクト」とは？

町内会単位で実態調査を行うことで地域の現状を知り、その結果から今後地域でできる支え合い活動や、他分野の活動者や企業などと協働して解決策を考えるプロジェクトです。

令和３年度も継続して行いますので、関心のある町内会はお声かけください。

令和２年度後期　活動報告

令和２年10月～令和３年３月

王子サポート隊の他、生活支援コーディネーターが関わった地域での支え合い活動などを一部ご紹介します。

「石橋台町内会　見守りネットワーク活動」

令和元年度より「見守りネットワーク活動」の推進に力を入れて活動しています。

令和元年に引き続き、令和２年は11月に２回目となる勉強会を行いました。今回は組ごとにマップを囲み、「支えあいマップづくり」を行いました。

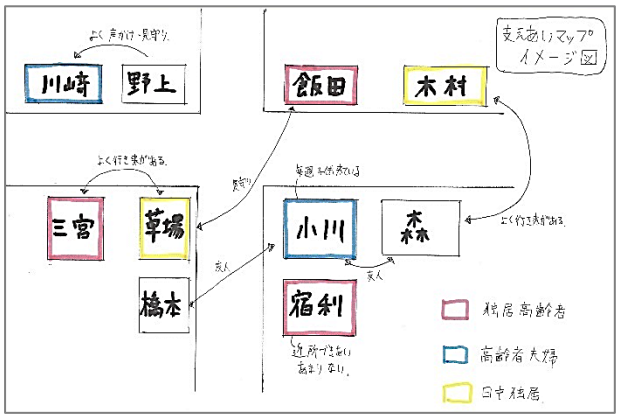
（「支えあいマップ」について下記に紹介しています。）

勉強会は今後も定期的に開催する予定とされており、勉強会を重ねることで、助け合いの輪が町内会全体に広がり、困ったときはお互いさまの文化が徐々に醸成されていくことと思われます。

参加者の声

- 近所の方をしらないなあ、いけないなあと改めて思いました。とても大切なこと、一人一人がこの会に参加できたらと思います。無関心では、いけないと思います。参加して良かったです。ありがとうございました。
- 石橋台の高齢化が一番だと聞いてびっくりでした。これから見守りネットワークがとても大切な事だと思います。たくさんの参加があってみなさんがとても関心を持っているのを心強く感じました。このような勉強会を望みます。準備おつかれ様でした。

「支えあいマップ」とは？



「支えあいマップ」とは、見守りが必要な方の世帯を色付けしたり、誰と誰が普段から交流があるかなどを線で結ぶことによって、つながりが少ない方や注意が必要な方を把握するというものです。これにより、活動者間で共通認識を持つことができ、平時の活動に活かすことができます。

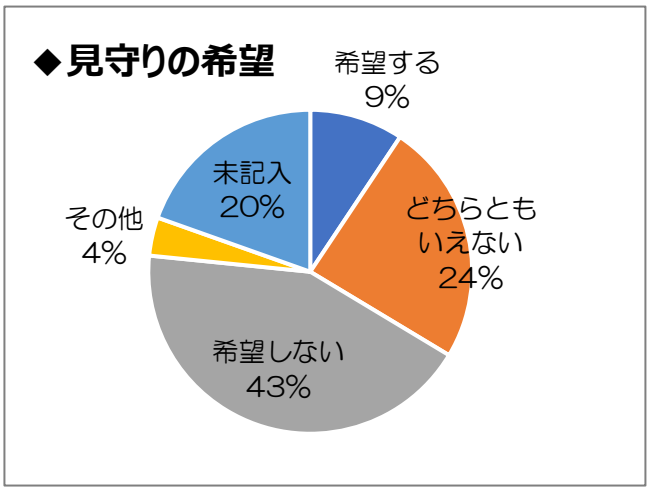
「志免３町内会　ふくしのまちづくりプロジェクト」

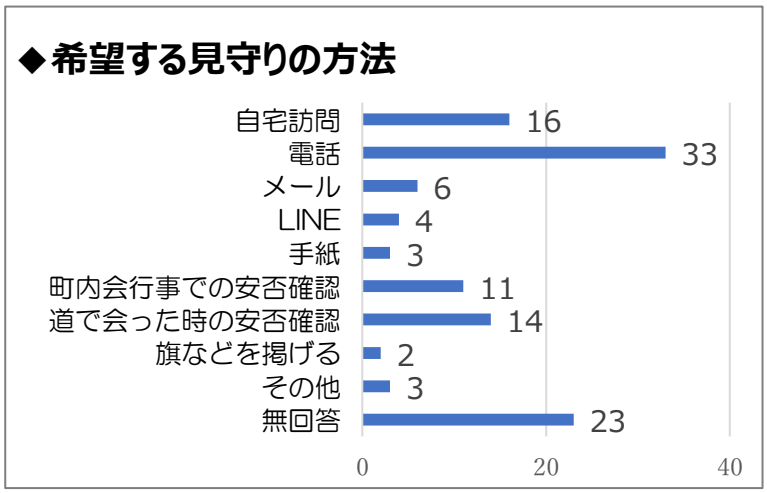
令和２年 11 月からプロジェクトを開始し、令和３年１月～2 月にかけてアンケート調査を行いました。

アンケート結果を踏まえて自分たちができそうなことを考えた結果、まずは「見守り・声かけ」から始めてみようという意見が出ました。これから、町内会役員さんを中心に組織づくりや活動方法などについて話し合う予定です。

アンケート対象者：70 歳以上の方
アンケート回収率：85.0%

アンケート結果を一部ご紹介します。





見守りを希望しない方が最も多く、見守りを希望された方は 9%でした。しかし「今のところ必要ない」と回答された方もおり、将来的には見守りも必要と考えている方も一定数いると考えられます。

「With コロナにおける地域福祉活動　つながり通信の発行」

居場所活動や訪問による見守り活動など、従来の福祉活動は人との対面を中心とした方法で実施されてきました。しかし、これからは３密（密集、密接、密閉）を避けるなど、新しい生活様式にあわせた福祉活動が求められています。そこで、つながり通信を活用した見守り活動をご提案しました。

つながり通信とは？

ボランティアさんや町内の事業所さんなどにもご協力いただき、自宅でできる体操や脳トレ、ぬり絵などの趣味活動をまとめたチラシです。

つながり通信の活用方法

通信をポスティングしながら見守り活動を行っていただくことを想定しています。

町内会役員さんにとっては見守り活動の一環、通信をもらった方にとっては介護予防の一環にもなります。

第１号～第５号は 16 町内会で活用いただき、延べ 5,272 名の方にお配りしています。令和３年度も２か月に１回の頻度で発行いたします。

「福祉総合計画が策定されました」

【スローガン】

お互いさまと思いやりでつなぐ地域の絆

～住民がやさしく、ともに支え合い、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるまち～

令和３年度から６か年に渡って志免町で取り組む福祉について記した「志免町福祉総合計画」が策定されました。この計画は、分野を超えた横断的な連携をめざし、地域福祉計画、高齢者保健福祉計画、障がい者プラン等、志免町の福祉に関連する多様な計画が一本化され、社会福祉協議会が取り組む地域福祉活動について記した「第６次志免町地域福祉活動計画」も内包されています。

なお、本計画の審議会には分野ごとに部会が設けられており、その一つであるシニア部会は、地域ケア推進会議（協議体）との連携により、住民代表、医療福祉専門職、町、社会福祉協議会等で今後の福祉について協議をする場となっています。志免町と社会福祉協議会では本計画を基本とし、志免町における福祉の更なる向上を目指しています。

つながり通信にあなたの情報を紹介してみませんか？

募集している記事

①健康づくりや介護予防に関すること

- ●新型コロナウイルス感染症予防に関すること
- ●自粛生活で気を付けたいこと
- ●家でもできる体操やストレッチ
- ●脳トレクイズ
- ●ぬり絵や折り紙など、家で一人でもできる趣味活動

② 川柳で笑ってコロナを吹き飛ばそう

ユニーク川柳 大募集

お題

- ●コロナを吹き飛ばせ！ユニーク川柳
- ●コロナ禍で今感じていること
- ●クスっと笑える出来事

※詳細については志免町社会福祉協議会までお問い合わせください。

生活支援コーディネーターのご紹介

生活支援コーディネーターは「地域支え合い推進員」とも呼ばれ、地域での支え合い活動を広める役割を担っています。

介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしくいきいきと暮らしていけるよう、住民の皆さんや事業所、各種団体などと協働しながら、地域における支え合いの体制づくりを進めていきます。

志免町では町からの委託を受け、志免町社会福祉協議会が担っています。

【お問い合わせ先】　志免町社会福祉協議会　TEL：０９２－９３７－３０１１